

■測定の仕様

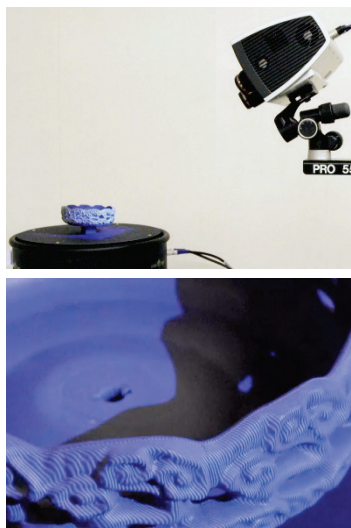
測定可能なもの

ターンテーブルに置いた測定物にモアレ縞を投影し、縞の変位から3次元の点データを取得します。測定物の全周を指定角度で自動で測定し、点データを合成します。

以下のものは測定が困難です。

- ・透明なもの
- ・光沢の強いもの
- ・黒色のもの
- ・小径の深穴
- ・形状を保持できないもの

探傷検査用現像液（成分：シリカ等）を塗布すると、測定ができる場合があります。



測定仕様

- ・ターンテーブルの仕様
直径400mm、耐荷重100kg
- ・測定領域と精度

	平面	奥行き	点間距離	1測定
細かい	140 x 105	80	0.042	約20秒 データ処理 含む
荒い	325 x 240	200	0.100	

単位：mm

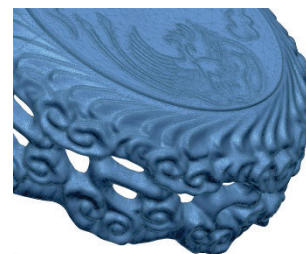
■測定時間の目安



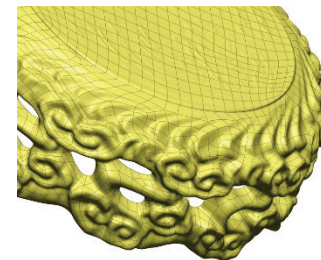
測定物サイズ

直径 120mm
高さ 40mm

- ・測定時間 約1～2時間
全周測定（36度ピッチ）×3方向
指定角度で追加測定×4回
- ・データ処理 約1時間
使用ソフトウェア
3D System社製 Geomagic Wrap
処理内容
不正点群や測定できなかった箇所を修復後、メッシュデータ（STL形式等）およびCADソフトウェアで編集可能なサーフェスデータ（STEP形式等）を自動で作製します。



メッシュデータ



サーフェスデータ